

I HTML 制作ルール

1. 文字コード

原則 UTF-8 とする。

※システム要件/言語/サーバによるリクエストなどから Shift-JIS や EUC-JP などとする場合もある。

2. 改行コード

原則 CR+LF (Windows) とする。

3. DOCTYPE

基本的に HTML5 で制作を行う。

なお PHP ファイルの場合、XML 宣言は PHP で行う。

4. マークアップ全般

■文章内容に適したマークアップを行う。

■W3C が勧告する XHTML1.0 の仕様に準拠したマークアップを行う。

5. 改行とインデント

■ソースの改行は、ブロック要素の終了タグの後等、適宜行う。

■body 内の要素には、構造に合わせて適切にインデントを施し、視認性の高いソースコードを実現する。

■インデントには tab (半角スペース 4 つ分) を使用し、全角 ~~半角~~スペースを使用しない。

6. パスの記述ルール

■サイト内リンク/画像のリンク共に、指定がない場合は原則として相対パス (ドキュメント) とする。

7. その他の記述ルール

■英数字は半角で統一とする。

■要素名および属性名はすべて小文字で記述する。

■タグ内での属性の記述順は class="オリジナル 汎用" とする。

■汎用クラスは多用しない。

■終了タグは省略しない。

■CSS での再現が困難な場合を除き、必然性のない (レイアウトを目的とした) table コーディングは行わない。

■パンくずの表記については階層構造に従い、各ページまでの遷移を順に記述する。

■半角カタカナは原則として使用しない。

■メールアドレスはエンティティ文字に変換し記述する。

II CSS 制作ルール

1. 文字コード

HTML に合わせる。

2. フォントファミリー

フォントファミリーは以下の順序で記述する。

"ヒラギノ角ゴ Pro W3", "Hiragino Kaku Gothic Pro", Osaka, "MS Pゴシック", "MS PGothic", Arial, Helvetica, Verdana, sans-serif;

3. CSS 記述の統一

3.1. グローバルナビゲーションについて

■グローバルナビゲーションはで組み、横並びの場合は IE6 での印刷を考慮して position: absolute;で配置する。

■タグには id を付与し、その id 名は"gNavi"とする。

3.3. id 名

id 名は以下のルールに沿って命名する。

■文章構造上、意味のある名前にすること。

■ローワーキャメル方式で命名すること。

3.4. class 名

class 名は原則、以下のルールに沿って命名する。

■文章構造上、意味のある名前にすること。

■2 語以上のローワーキャメル方式で命名すること。

■末尾に 2 桁の連番を付けること。

例)

categoryList01

上記の中で、バリエーションのあるパーツの場合は、Dreamweaver のコードヒント機能を活用するために以下の命名ルールを採用する。

[タグ名] + ["_"] + [識別名] + [連番] (+ ["_"] + [詳細])

■特殊 class 名について

以下の用途については class 名を統一する。

・アクティブ時の class 名 : "current"

・オーバー時の class 名 : "over"

・div, section 要素の入れ子

基準となる要素の親要素 : "sectionXXXWrap"

基準となる要素の子要素 : "sectionXXXIn"

3.5. 一般 css 記述

■セレクトタについて

- 1行1プロパティとし、各プロパティはタブインデントを付ける。
- コードヒントを利用するため、プロパティの値の前には、必ず半角スペースを入れる。
- 継承**させる場合はセレクトタにインデントを付ける。
- 連続**して同種のセレクトタに同じようなプロパティをかける場合は、1行でまとめてもよい。

■ショートハンドプロパティについて

- 一括指定可能**なプロパティ (margin 等)の個別指定 (margin-top 等)は、1つまでとする。
- 2つ以上の個別指定は一括指定にまとめる。

誤)

```
margin-top: 4px;  
margin-right: 10px;  
margin-bottom: 8px;  
margin-left: 20px;
```

正)

```
margin: 4px 10px 8px 20px;
```

■色の指定

色指定は 16 進数 6 桁で記述するが、省略できるものは 3 桁に省略する。

※英字は小文字を使用する

例)

```
#fde96c
```

Ⅲ JavaScript 制作ルール

1. 記述場所の前提

原則、複数ページで共通に使用するスクリプトは外部ファイル化する。

2. 文字コード

HTML に合わせる。

ただし、ダウンロードしてくるものは原則変更しない。

※HTML ファイルと JavaScript ファイルの文字コードが異なる場合、キャラクターセットの指定を行うこと。

```
<script type="text/javascript" src="/js/common.js" charset="UTF-8"></script>
```

3. 初期設定 JavaScript

3.1. jQuery.js

JavaScript ライブラリ

<http://jquery.com/>

※使用時は毎回ダウンロードすること。

3.2. common.js

共通設定の JavaScript。

4. 追加設定 JavaScript

必要に応じて JavaScript を追加する。

IV ディレクトリ作成ルール

ルール①

```
root/  
├index.html  
├css/  
| ├reset.css  
| ├layout.css  
| └common.css  
├top.css ( TOP ページの CSS )  
├img/  
| ├(common/)  
| └(top/) ( TOP ページの画像 )  
├js/  
| ├jquery.js  
| └common.js  
└innerPage/  
  ├css/ ( インナーページの CSS )  
  ├img/ ( インナーページの画像 )  
  └index.html
```

ルール②

```
root/  
├index.html  
├css/  
| ├reset.css  
| ├layout.css  
| └common.css  
├top.css ( TOP ページの CSS )  
├page.css ( インナーページの CSS )  
├img/  
| ├(common/)  
| ├(top/) ( TOP ページの画像 )  
| └(page/) ( インナーページの画像 )  
├js/  
| ├jquery.js  
| └common.js  
└page.html
```

V ファイル作成ルール

1. ファイル名使用文字

1.1. ファイル名に使用できる文字は以下のとおり。(ファイル名には拡張子必須)

- 「a」～「z」までの小文字のアルファベット(1バイト)
- 「0」～「9」までの英数字(1バイト)
- 「- (ハイフン)」と「_ (アンダースコア)」(いずれも1バイト)
- 先頭には「- (ハイフン)」「_ (アンダースコア)」を使用しない。

※ファイル名に2バイト文字とスペースは不可

2. ファイル名文字数

- 拡張子を含む半角小文字31文字以内とする。
- ページ名が長い場合は省略できるものとする。

3. 画像ファイル作成ルール

3.1. 画像の命名ルール

画像名は以下の通りとする。

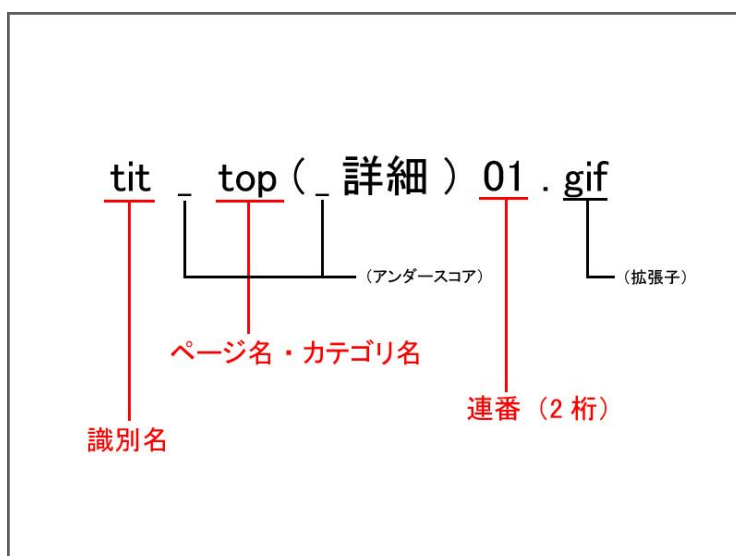
[識別名] + ["_"] + [ファイル・カテゴリ名] (+ ["_"] + [詳細]) + [連番 2桁].拡張子

※[ファイル・カテゴリ名]、[詳細]は不要だと判断される場合は省略可。

※同種の画像が他にない場合でも、必ず2桁の連番をつける。

例)

tit_top01.gif



VI コーディング後チェック

1. 文法チェック

HTML-Lint (文法チェックツール) を用いて検証テストを行う。

※6 点以上のエラーを無くす。

2. ブラウザ目視チェック

表示のズレ、リンク先のチェック等、目視でのチェックが必要な項目をブラウザごとに検証する。

検証ブラウザ

Windows	Internet Explorer11、Microsoft Edge 最新 (Win10 のみ)、Firefox 最新、Chrome 最新
Mac	Safari 最新版、Firefox 最新版、Chrome 最新版
iOS スマホ	iOS12 Safari 最新版
iOS タブレット	iOS12 Safari 最新版
android スマホ	AndroidOS6.0 以降による GoogleChrome 最新版
android タブレット	AndroidOS6.0 以降による GoogleChrome 最新版